

3. 上がり寸法 37cm の袖丈にし丸みは 12cm のものと 2 cm のものの 2 種類を作製したが、予め各種縫製法にしたがって一通り作製したうえで丸みの部分についてのみ縫製所要時間を測定した。12cm の丸みでは一番長時間を要したものは手縫いで 10 分、一番短時間であったものは 2 分 38 秒であり、仕立屋式が所要時間少なく縫製法も簡単であったが型くずれは一番大。

尚、前回夏季寝衣用浴衣の縫製に関して研究発表を行ったとおり、仕立直しを必要としない浴衣に関しては、丸みを裁ち落して袋縫いのミシン仕立てにすることが縫製所要時間も少なく、洗たくによる型くずれ防止の点から考えても一番よい成績をうることができた。

B-48 浴衣の袖の丸みについて種々縫製法の考察

四天王寺学園短大 大川原千鶴
○山科 圭子

1. 袖の丸みは仕立て上がりの型はいずれも美しくみえるがその仕立て方については各人各様の異なった方法で整えられている。その所要時間も相当長時間を要するものから、3分の1にもみたくない短時間のものまでであるので今回は丸み縫製所要時間と洗たくによる型くずれの関係の研究したので報告する。

2. 和裁書、和裁教室を含む仕立屋、ミシン縫いなど各種の方法によりそれぞれの縫製法にしたがって仕立て、丸み縫製所要時間を測定した後、洗たく機にかけてその型くずれを肉眼で測定した。